

緊急募集中！

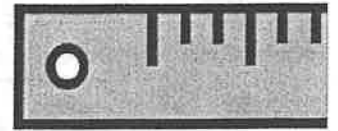
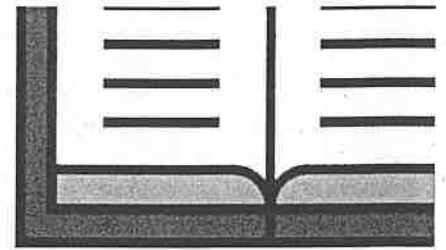
教員や学習指導員、
スクール・サポート・スタッフなど
学校に追加配置するため、

85,000人分、

310億円を

補正予算案に計上しました！

※金額は国1/3負担額。
※令和2年度第2次補正予算



学校をサポートいただける皆様へ

学校・子供応援サポーター 人材バンク開設！

子供たちのために皆様の力を貸してください

今、学校は、子供たちの学習指導や心のケア、感染症対策等、
沢山の大人たちのサポートが必要です。

学校や教育委員会が必要な人材をすぐ探すことができるよう、
御協力いただける皆様からの登録をお待ちしています。

簡単登録
1分！



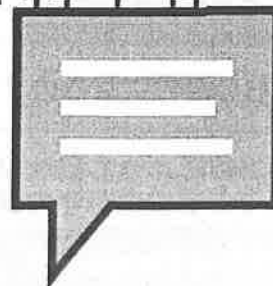
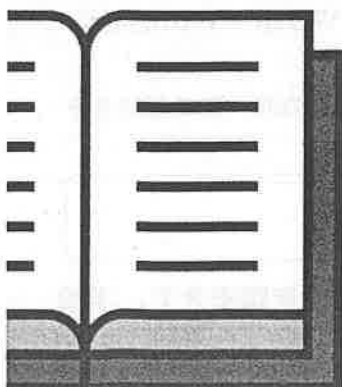
登録フォームはこちら

<https://pf.mext.go.jp/admission/12364-2.html>

退職教員、教師志望の学生をはじめとする大学生、
学習塾講師、NPO等教育関係者、地域の皆様などからの
ご登録を是非お待ちしております！



文部科学省



【令和2年6月ver.】

学校をサポートいただける皆様へ

学校・子供応援サポーター人材バンク

に関するお知らせ

文部科学省では、学校再開後、各地域において、学校をサポートしていただける人材が必要となる機会も多くなるため、教育委員会等が必要な人材をすぐに探すことができるよう、人材バンクを開設しました。



Q どんなことをサポートすればいいの？

- A** 自治体によって、募集内容が異なりますが、例えば以下のようなイメージです。
- 退職教員や教員免許取得を目指している方、大学生、塾講師、NPO等教育関係者等の皆様には、子供の学習支援や子供の個別の学習サポートを
 - ICTが得意な方は、学校と家庭をICT等でつなぐサポートを
 - そのほか、簡単な事務作業、感染症対策のための校舎内の消毒等のサポートを 等



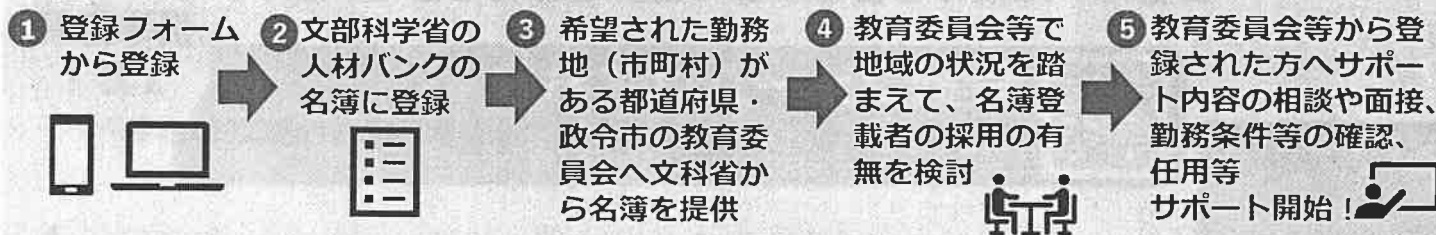
Q 教員免許はいらないの？

- A** 登録には必要ありません。自治体や事業内容によって、社会人経験の有無や年齢制限など、採用の資格要件が異なりますが、教員免許が失効していたり、教員免許を保有していなくても、サポートいただけることはあります。この人材バンクでは、教員免許の保有の有無にかかわらず、幅広い方々からの登録をお待ちしています。



Q 登録したら必ず採用されるの？実際サポートするまでの流れはどうなるの？

- A** 登録すると名簿に登載されます。必ず採用されるわけではありません。サポートいただくまでの流れのイメージはこちらです👉 (自治体によって異なります)



Q 勤務条件はどうなるの？報酬はどのくらいもらえるの？

- A** 自治体によって異なります。登録いただいた情報をもとに、教育委員会で求めている人材とマッチした場合には、本人にご連絡し、報酬を含めた勤務条件やサポートいただく内容など、具体的にご相談をすることになります。

※一般的に、各自治体では資格要件として、地方公務員法第16条の欠格条項（禁固以上の刑、懲戒免職処分等）等に該当しないことを求められます。



Q いつからの勤務になるの？今は感染が心配です。

- A** 採用時期は自治体によって異なります。基本的には、地域の感染状況を踏まえて、学校が再開した後での学校現場でのサポートを想定しているものです。

スクール・サポート・スタッフの追加配置 (補習等のための指導員等派遣事業)

令和2年度第2次補正予算額(案) 38億円



学校再開にあたって3密を避けるための環境づくり等、
新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ることで純増する教師等の業務をサポートし、
教師が子供の学びの保障に注力できるようにするため、

緊急的にスクール・サポート・スタッフを大規模追加配置

令和2年度当初予算分(4600人)で未配置の小中学校20,600校分(計25,200人)を配置

活用
イメージ
(例)



家庭学習や家庭への
連絡資料の準備
印刷、帳合など



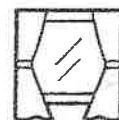
子供の健康観察の
とりまとめ作業等



家庭との連絡業務増加
に伴う補助



分散登校等による
複数回の登校支援



教室内の換気や消毒など
の感染症対策

対象校種	公立の小学校、中学校、義務教育学校 中等教育学校(前期課程のみ) 特別支援学校(小学部・中学部)
------	--

実施主体	都道府県 政令指定都市
------	----------------

想定人材	教師志望の学生をはじめとする大学生、地域の方々など幅広い人材
------	--------------------------------

補助割合	国 1/3 都道府県・政令指定都市 2/3
------	--------------------------

学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援経費 令和2年度第2次補正予算額(案) 405億円

(概要)

- 学びを段階的に再開する学校や、すでに再開した学校においては、感染拡大のリスクを最小限にするため学校における感染症対策を強化するとともに、分散登校等の積極的な活用と家庭学習を組み合わせることにより、子供たちの学習保障等に万全を期す必要がある。
 - 各学校が、段階的な学校再開に際して学校の感染症対策等を徹底しながら子供たちの学習保障をするために、新たな試みを実施するに当たり、**校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を国が緊急的に措置する。**
- ➔ 補助対象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等 ➔ 補助率：公立・私立(1/2) 国立(10/10)
- ➔ 交付額：地域の感染状況、学校規模等に応じ1校当たりの上限額(100万～300万円程度*感染状況等に応じて加算あり)の範囲で、学校等の必要に応じて支援メニューから自由に選択可能

段階的な学校再開等に対応する学校現場等への支援メニュー

学校における感染症対策等への支援

■ 新型コロナウイルス感染症対策の強化に必要な経費

- ☞ 消毒液や非接触型体温計等の保健衛生用品の追加的な購入経費
- ☞ 特に感染症の拡大を警戒する必要がある地域において、集団で検温を実施する場合に必要なサーモグラフィー等の購入経費
- ☞ 教室における3密対策として、換気を徹底するためのサーキュレーター等の購入経費



■ 夏季における学校給食実施に必要な経費

- ☞ 従来の夏季休業期間に学校給食を実施する場合に必要な調理員の熱中症対策に必要な経費

子供たちの学習保障の取組への支援

■ 児童生徒の学びの確実な定着のために必要な経費

- ☞ 特に感染症の拡大を警戒する必要がある地域において、家庭における効果的な学習のために用いる教材の購入等、児童生徒の学びのために必要な経費

■ 家庭との連絡体制強化に必要な経費

- ☞ 家庭等との連絡や、保護者等からの問い合わせ対応のため、臨時的な学校電話機の増設等、学校における連絡体制の強化に必要な経費

■ 空き教室等の活用に必要な経費

- ☞ 教室における3密対策として、空き教室等を活用して授業を実施する場合に必要な備品等の購入経費